

專任者平澤計七一派ハ兩者ノ融和ヲ計リ更ニ總裁  
合ノ實現ヲ促スベク週報法條等屬組合法條小作等ニ  
識調停法條等ノ第四十六議會ニ提出セラルベキヲ  
豫想シテ反對運動ヲ起シ止レニ依リテ總商會和ヲ  
期セントシ幹線大ニ努ムル厥アリシニ結バレタル  
反感ハ容易ニ解クベクモナク分敵シテ行動スルニ  
至レリ更ニ前記週報社ハ派ハ當時嘆シカリシ決意  
防止運動ニ依リ再渡兩者ノ一紙行爲ヲ期セントセ  
ルガ之亦徒勞ニ終レリ

以上ノ如ク兩者ノ反目ヲ来セルハ結果ノ融和ヲ行爲  
リニ原因スル所ナリトスルニ社會主義者ノ共産主義  
無政府主義ノ兩派ガ互ニ勢力擴張ニ野心シ各々勢力

組合内ニ潛勢力ヲ敷植シ裏面ヨリ侵蝕シテ此ノ状態  
ニ導ケルハ最も看過スベカラザル所ナリトス  
而シテ五月へ月ノメーデーハ中二約立場ニアリシ迄  
浦券勵組合ノ懇懇及等シク警備隊多量有階級ト云  
フ此場ヨリ当日迄ニハ幾多ノ糾纏ヲ以テ漸ク合同ニ  
テ行フヲ得タリ

三派系反對運動次第防止及メーデー示現運動ノ状  
況ニ就テハ別ニ記述スベシ

斯クテ兩者ノ反目ハ勢力争ヒトナリ六月本所區錦糸  
所所在或車製造株式會社東京支店取入ノ紛争ヨリ行  
突ヲ惹起シ同争議ニ於テ組合利己心ノ醜狀ヲ遺憾ナ  
ク暴露シ反目嫉視ハ層基タシキヲ加ヘタリ